2026 年 11 月６日

(株)ニップン　中間期の連結業績および通期連結業績予想

＜ 連結業績の概要 ＞

（%表示は対前年同中間期比率）

	売　上　高		営 業 利 益		経 常 利 益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027 年 3 月期　中間期	*213,509*	*102.7*	*8,440*	*77.4*	*9,975*	*81.9*	*10,226*	*109.7*
2026 年 3 月期　中間期	*207,903*	*101.5*	*10,908*	*103.6*	*12,183*	*99.2*	*9,323*	*66.4*

当社グループは経営理念「人々のウェルビーイング（幸せ・健康・笑顔）を追求し、持続可能な社会の実現に貢献します」のもと、企業価値の持続的な向上に努めております。

当社は、2026年９月26日をもちまして創立130周年を迎えました。これまで長きにわたり培った“おいしさ”と“笑顔”を生み出す技術力および揺るぎない信頼を礎として、さらなる成長と企業価値の向上に向けて取り組んでまいります。

当中間期には、冷凍ワンプレート分野で新マスターブランド「ニップン 彩りごはん。」を立ち上げました。同ブランドを、「オーマイプレミアム」と並ぶ、当社を牽引するマスターブランド戦略の柱と位置づけ、冷凍食品事業のさらなる成長に繋げてまいります。

また、バレーボール国内最高峰のSVリーグに参戦する男子プロバレーボールチーム「フラーゴラッド鹿児島」とプリンシパル・パートナー契約を締結いたしました。今後はユニフォーム等へのロゴ掲出を通じてブランドの発信力を強化するとともに、チームとの共創を通じた地域社会への貢献に取り組んでまいります。

これらの施策により、当社ブランドの市場競争力の一層の強化と収益基盤の安定化を図るとともに、企業価値の向上に努めてまいります。

2026年10月には、中央研究所と開発本部を統合し、新たに「研究開発本部」を設置いたしました。今回の組織再編と、2027年春以降に予定している新拠点「ニップンR&Dセンター」への移転を通じて、研究開発基盤の強化およびオープンイノベーションを推進し、新たな価値の創造と持続的な事業成長に繋げてまいります。

当中間期の連結業績につきましては、販売数量が堅調に推移したことに加え、価格改定を実施したことにより、売上高は2,135億９百万円（前年同期比102.7%）となりました。利益面では、各事業において原材料費や人件費、物流費をはじめとする諸コストの増加が先行したことや新工場稼働に伴う償却負担増があったことにより、営業利益は84億４千万円（同77.4%）、経常利益は99億７千５百万円（同81.9%）となりました。一方で、政策保有株式の縮減方針に基づき投資有価証券を売却したことにより、親会社株主に帰属する中間純利益は102億２千６百万円（同109.7%）となりました。

＜ 2027年３月期　通期連結業績予想 ＞

通期の業績につきましては、2026年５月12日に公表いたしました通期の連結業績予想の数値を据え置いております。

また、配当につきましても、当初予想の１株当たり年間68円の予定から変更はございません。

以　上